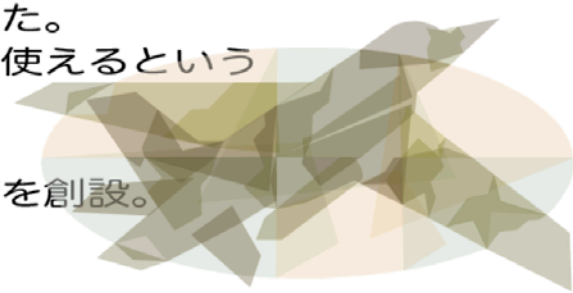


軍学共同反対 講演会&シンポジウム 10/28

日本の学術は憲法の平和主義の精神で、
戦争に協力する研究を行わないことを誓った。
今、安倍内閣は、技術は軍事にも民生にも使えるという
デュアルユース論を掲げ、
軍学共同に突き進もうとしている。
防衛省は軍事研究のための競争的資金制度を創設。
昨年4大学、今年5大学が採択され、
科学の軍への下請け化が始まっている。

その予算は昨年3億、今年6億、
来年の要求はなんと110億！日本の科学は今、
軍事に奉仕する科学になるのか否かの瀬戸際にある。



軍事に奉仕する科学になるのか？

第一部 講演 山崎 正勝 東京工業大学名誉教授 日本の科学者の平和主義、その「節操」と「誇り」

日本学術会議は朝鮮戦争が始まった1950年の4月に「戦争を目的とする科学の研究には絶対従わない決意の表明」を決議し、1967年10月には、前年の半導体国際会議に米軍資金が使われたことを受けて「軍事目的のための研究を行わない声明」を出した。この二つの声明の背景には、日本の科学者の中に培われた平和主義の立場があった。彼らの平和主義のルーツを、原爆投下から解き明かすととともに、その今日的な意味を考察する。

プロフィール：1944年生まれ。東工大博士課程修了、現在同大名誉教授。
専門は科学史。共編著に『原爆はこうして開発された』『福島原発事故に至る原子力開発史』など。「日本の核開発」で2012年科学ジャーナリスト賞受賞。

第二部 シンポジウム 池内 了 名古屋大学名誉教授 井原 聰 東北大学名誉教授 杉原浩司 武器輸出反対ネットワーク

10月28日(金) 18時45分~21時
明治学院大学2号館 地下2102教室

資料代：700円 ◎学生 明治学院大学関係者無料
※申込み不要 開場18時30分



主催：軍学共同反対連絡会

後援：明治学院大学国際平和研究所

問合わせ：軍学共同反対連絡会事務局 koderat311@gmail.com

最寄駅 東京メトロ南北線

白金高輪 または 白金台 下車10分